

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	医療評価入院における患者と家族のニーズを捉えるための取り組み — “医療的ケア情報共有シート” の活用状況およびニーズを捉えるうえでの工夫や困難感の把握—
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 樋口 伊佐子 看護部 5階東棟
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2020年8月以降に5階東棟に医療評価入院した患者さんおよびご家族 医療評価入院患者が入院する外科系病棟看護師
研究期間	研究実施許可後～2022年5月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>医療評価入院をする患者さん（以下重症児・者の方）は、環境の変化やケア方法の変化に非常に敏感で体調が不安定になる場合があります。入院中に体調を崩す児もいるため、重症児・者の方とその家族には、入院に心配や不安を伴う場合があると言われてしています。一方、看護師もケアを行う際に重症児・者の方のケア方法や重症児・者の方が示すサインなどに戸惑ったり、重症児・者の方や家族のニーズに沿ったケアが十分にできないことにジレンマを感じたりしています。しかしながら、看護師によって入院時の情報の取り方に偏りが生じていることや、限られた時間の中で十分に重症児・者の方の情報やニーズを把握しきれていないのではないかと考えました。そこで5階東棟では、ご家族から提供される重症児・者の方の情報を記入する“医療的ケア情報共有シート“(以下情報シート)を作成し、使用しています。ただ、情報シートは作成後1年が経過しているが見直しが行われていないことから、どのように情報シートを活用して情報を得てケアに活かしているのか実態を把握することで、内容や活用方法について検討する必要があると考えています。そのため、5階東棟での医療評価入院の際に利用している医療的ケア情報共有シートに記載されている内容からどのような情報を得ているかを把握し、また重症児・者の方を担当する外科系病棟に勤務する看護師から重症児・者の方とご家族のニーズを捉えるために、どのように情報を得ているのかそしてその情報を共有するためどのような工夫をしているのか、またどのような困難に感じていることに対するアンケート調査の結果から、重症児・者の方とご家族のニーズを捉えた情報シートとなるように既存の情報シートの修正および情報シートのより効果的な活用方法について検討します。</p>

<p>研究に用いられる試料・情報の項目や種類</p>	<p>記録物（医療的ケア情報共有シート） アンケート調査結果</p>
<p>研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法</p>	<p>本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。 下記の間合せ先までご連絡ください。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き</p>	<p>本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 5階東棟 電話 0725-56-1220 (内線 3500) 樋口 伊佐子 當摩 有佳 三輪 久美子</p>